

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 1 日現在

機関番号：32660

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2014～2015

課題番号：26760011

研究課題名(和文) 冷戦下東アジア国際関係と中国国内政治のなかの朝鮮族社会の変容に関する研究

研究課題名(英文) The formation of the Chaoxianzu: National, societal, and ethnic perspectives

研究代表者

李 海燕 (LI, haiyan)

東京理科大学・工学部・講師

研究者番号：50708196

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,600,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、第二次世界大戦終了直後大規模の引揚げを経て中国に残留した朝鮮人が、冷戦下の東アジア国際関係と中華人民共和国建国初期の中国国内政治の影響を受けながら、「中国朝鮮族」という新しいエスニック集団として誕生・確立し、存続の危機に立ち向かう政治的プロセスと朝鮮族社会の変容を実証的に解明することである。

この研究は、東アジア近現代史の重要な構成部分でもある。本研究は中国と北朝鮮の国境地域の社会史も含んでおり、今日的な意味がある。中国の少数民族問題研究の重要なケーススタディである。コリアン・ディアスポラ研究に貢献するだろう。エスニックと国家の関係に関する研究を深化することになる。

研究成果の概要(英文)：This research examines the political and social aspects of the origin and establishment process of the Chaoxianzu, an ethnic minority group formed by the Koreans who remained in China after the World War II. This research focuses on the period when contemporary nation-states were developing across East Asia and incorporates insights from modern Korean and Japanese history.

研究分野：地域研究

キーワード：現代中国 中国の民族問題 朝鮮族 冷戦 第二次世界大戦終了直後 歴史学 地域研究

1. 研究開始当初の背景

本研究では、第二次世界大戦終了直後大規模の引揚げを経て中国に残留した朝鮮人が、冷戦下の東アジア国際関係と建国初期の中国国内政治の影響を受けながら、「中国朝鮮族」という新しいエスニック集団として誕生・確立し、存続の危機に立ち向かう政治的プロセスと朝鮮族社会の変容を実証的に解明する。

筆者は2000年から、1945～1976年の時期に焦点を当てた中国朝鮮族の形成・成立過程についての歴史研究に着手した。そもそも、1990年代まではイデオロギー対立や国際関係の制約から史料へのアクセスが困難であり、中国居住の朝鮮人についての歴史研究は、中国、南北朝鮮、日本、その他の諸国のいずれにおいてもあまり研究されて来ていなかった。そして、その後の研究の展開を見ても、19世紀から1945年までの時期を扱ったものが多く、内容も移住の背景、定着、当該時期の中国ないし日本帝国、満州国の彼らに対する施策や朝鮮人側の抗日闘争などを取り上げたものがほとんどであった。また、1945年以降の中国の朝鮮人については、多くは現状の紹介にとどまり、国共内戦や朝鮮戦争への参加等の史実についても簡単な言及にとどまってきた。

近年においては、韓国、日本で第二次世界大戦後の中国在住朝鮮人に対する研究で、軍事史、言語政策史、民族関係史の側面から研究成果が発表されている。

2. 研究の目的

具体的には、下記の研究課題の解明を目標としている。

(1) 朝鮮族はルーツが朝鮮半島にあるため、必然的に東アジア国際関係の政治力学のなかで存在することになる。冷戦下の中朝関係と中国政治における朝鮮族の政治的な位相の関係性を解明する。

(2) これまでに利用されたことのない米

軍政資料(例えば、朝鮮の南部に進駐したアメリカ第10軍第24軍の記録など)を利用して、米軍政の引揚げへの方針や動向を在日朝鮮人の帰還/残留などとの関連や比較の視点で分析を進める。

(3) 「満洲国」が崩壊し、中国共産党が中朝国境地域の延辺に進出した当初に、県、区レベルのポストには当地の朝鮮人幹部が就いていた。しかし、1947年4月に中共吉林省委は115人の朝鮮人幹部を召喚し、整風運動を行いそのほとんどを失脚させた。その一方で、中共吉林省委は「計画的に、大胆に、積極的に」新党員の受け入れを行うべきだと指示し、区レベルの幹部全員を新党員から抜擢することを指示した。この事件の政治的な背景、過程、影響への分析を中心に、中華人民共和国建国期の朝鮮族社会の基層政権における幹部選抜の構造と民族幹部の実態を考察することで、中国共産党の朝鮮族社会末端への浸透・把握過程を解明する。

(4) 1940年代から1970年代までの朝鮮族の民族アイデンティティを考察する。「満洲国」の崩壊、国共内戦、中華人民共和国と朝鮮民主主義人民共和国の建国、朝鮮戦争、反右派闘争、文化大革命など激動の時代を背景に、それらが民族アイデンティティに与えた影響、アイデンティティの変容のプロセスを考察する。

3. 研究の方法

本研究は、中国・韓国・北朝鮮・アメリカ・台湾の一次資料と現地における経験者へのインタビュー調査を通じた実証研究である。

本研究は、政治史・社会史の側面からのアプローチを中心としている。1980年までに中国は基本的に毛沢東のカリスマと、政治体系を独占した中国共産党の権威主義による全体主義国家であったため、政治史・社会史のアプローチは必須である。

本研究では、中華人民共和国の少数民族である「中国朝鮮族」という枠組みが無前提に

与えられたものではないという新しい視点を持って、そこに至る歴史的過程を検討している。これまでの中国朝鮮族の枠組みについての言及は、“中国は多民族国家であるからそこに移住してきた朝鮮人も民族的権利が付与された”、“同じ抗日の課題を持っていた中国東北部の漢族と朝鮮族は手を携えて中華人民共和国の建国に寄与しその一員となった”といったものであったが、本研究は、地域におけるそれ以前の歴史を反映した民族対立や、当該時期の中国国内の政治情勢や国際関係のあり方に影響されながらそれが形成されたことを論じ、上述のような見方が単純に過ぎることを明らかにしている

4. 研究成果

(1) *The formation of the Chaoxianzu: National, societal, and ethnic perspectives*

Using national, social, and ethnic perspectives, this report describes the birth and establishment of *Chaoxianzu* - an ethnic group formed by Chinese people of Korean descent who remained in China after the second world war - during the formation of modern nations in East Asia.

First, the report examines the maturation of a *Chaoxianzu* ethnic framework within the political system of the People's Republic of China. This section analyzes how immigrant *Chaoxianzu* gained Chinese citizenship and how the Yanbian Korean Autonomous County came to existence - a central issue in ethnic politics.

Second, the report examines the grass-root-level ethnic relationship with Han Chinese in local societies from Chinese society's perspective. The third section considers the Han Chinese/*Chaoxianzu* ethnic union organization which was established during

the socialist market economy unification after the formation of the PRC, which foregrounded this ethnic relationship.

The final section examines the change in a sense of homeland by *Chaoxianzu* from the perspective of ethnicity by focusing on the process of unification through a series of mass campaigns by the PRC triggered by the Korean War, which included patriotic education, criticism of ethnicism in rural regions, and the unification of ethnic groups.

(2). *Interview with the Korean Chinese (chaoxianzu) near M City in Heilongjiang Province in China with a focus on the period between 1940s and 1970s (interviewed in August 2013 and March 2014).*

This study examines the political and social aspects of the origin and establishment process of the *Chaoxianzu* - an ethnic minority group formed by the Koreans who remained in China after the World War II.

The current manuscript is based on the interviews conducted near M City in Heilongjiang Province in August 2013 and March 2014. Thirteen individuals, who grew up and lived near M City for the majority of their lives, were interviewed. Age, occupation, socioeconomic status, and personality varied greatly among these interviewees. The emphasis of the interviews was on individual life history and situations surrounding their villages, work places, and families. As they are immigrants, the interviews focused on issues related ethnic identity in terms of the process of family immigration,

relationship with the Han ethnic group in the community, language, education, and marriage.

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 2 件)

李海燕「中国黒竜江省M市朝鮮族へのインタビュー記録 1940～1970年代を中心に」『東京理科大学紀要(教養篇)』査読あり、第48号、2016年3月、213-236頁。

李海燕「The Formation of CHAOXIANZU from perspectives of Nation, Society and Ethnicity」(中国語)『SENRI ETHNOLOGICAL STUDIES』、査読あり、No.90、2014年11月、243-254頁。

[学会発表](計 2 件)

李海燕「冷戦期における中国朝鮮族の祖国意識に対する考察」韓国高麗大学校民族文化研究院・同志社コリア研究センター主催国際学術会議「冷戦研究の最前線 第4回研究会」、2016年3月3日、同志社大学志高館(京都)。

李海燕「延辺における地域権力構造と朝鮮族エリートの推移(1945-1960)」韓国満州学会主催シンポジウム「East Asia and Manchuria in Trans-War Period」、2014年9月、ソウル国民大学校(韓国)。

[図書](計 件)

[産業財産権]

出願状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]

ホームページ等

<https://www.tus.ac.jp/ridai/doc/ji/RIJI/A01Detail.php?act=nam&kin=ken&diu=6395>

6. 研究組織

(1)研究代表者

李海燕(LI haiyan)

東京理科大学工学部講師

研究者番号：50708196

(2)研究分担者

なし ()

研究者番号：

(3)連携研究者

なし ()

なし

研究者番号：